

「太平山麓九条の会」だより



事務局：須黒法律会計事務所 〒328-0027 栃木市今泉町 2-4-18 FAX0282-22-3757

電話連絡先 0282-22-7079(増田)

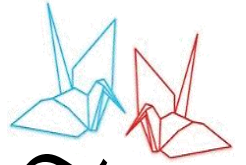
Eメール oochirasanku9jo@yahoo.co.jp

HP：太平山麓九条の会で検索

183号
2022年 9月22日発行

夏想う
ピース・ピース
「特集号」

平和の大切さを 未来へつなごう～



8月28日、戦争の悲惨さを後世に残し、二度と戦禍の起こらぬよう、平和について考えてみようとして「夏想う ピース・ピース」を開催しました。

市内在住の方はじめ、遠方からもお運びいただき、65名の方が集いました。



栃木市民交流センター
「大交流室」

第一部 幻燈会 「野ばら」「インディラ物語」

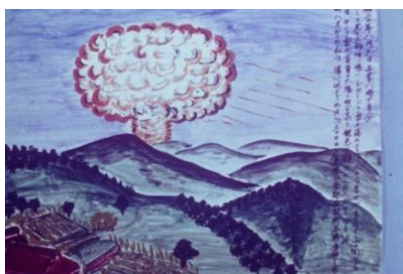


「幻燈はやわらかな光で、温かみがあったいな」

初めて幻燈を見たのですが、やわらかな光で照らされるストーリーはとても温かみがあったいな、と思いました。かみしばいとも、絵本とも違うよさがありました。メディアなどでよくみる平和についての話は、恐怖を植え付けるような感じでいやでした。幻燈はむしろ希望を感じるような演出で、小さな子どもでも楽しめる内容だと思います。次回は学校での出前授業などを企画してはどうかとおもいました。戦争がおきてしまった過去から学ぶことは多いです。平和について考えることとは自分とはちがう他者との関わりを考えることだとおもいます。残念なことに、日常生活のなかでも、他者を異物とみなして攻撃する言動を目にすることがあります。本人も気づかないうちに誰かを排除してしまうこともあります。おかれた状況や育ってきた環境が違うことを理解し、お互いを知ろうとすることからはじめないといけません。今回のつどいをきっかけに、「平和ってなんだろう」ということを改めて見つめることができました。すてきな機会をいただき、ありがとうございました。

20代 (M・O)

わたしは見た! 市民が描いた原爆の絵 (一部紹介)



広島市の30キロ北にある山間の町から見た「きのこ雲」です。遠くから見る雲は

怪しく輝き、美しくさえあったそうです。



燃える市内から郊外への長い列、多くの人が力つき亡くなっていきました。

一人の母親が、わが子の名をかな切声で叫んでさがしていました。



日常を一瞬で奪ってしまうのが戦争です。

～知らない世代に伝えていくことが重要だと～



第二部 吉永小百合 (平和への祈り)



～主な詩～

序 原爆詩集
嶋 三吉
ヒロシマの空
林 幸子
子どもたちの詩 他

「夏想うピース・ピース」にて、戦争について知り、考える機会をいただきました。まず、幻燈は、初めて鑑賞したためとても貴重な体験でした。特に「野ばら」は、戦争の発端に関わりがなく対立を望まなくとも、『敵』ができて戦うことになるかもしれないと教えてくれた作品で強く印象に残っています。作中の青年兵士と老兵士のように敵対している国に友人や大切な人がいても、戦争が始まればその人たちやその国を敵として攻撃するのはどんなに悲しくつらいことでしょうか。戦争は自分の国だけではなく相手の国も傷つけるものだと、この作品を通して改めて気づきました。

空襲で市民の方々が見た風景や吉永小百合さんの「平和への祈り」は、今の私たちの暮らしとはかけ離れている光景や想像もつかないような内容でした。私たちが毎日ごはんを食べられることや家族に会えることは、とても幸せなことだと思います。この日常を一瞬で奪ってしまうのが戦争です。この戦争を二度と繰り返さないためにも、私たちのように戦争を知らない世代に戦争の恐ろしさや悲しさを伝えていくことは重要だと思いました。

そして、すみれの会の皆さんがオカリナで演奏してくださった「芭蕉布」から、沖縄と戦争についての学びがありました。私はこの曲を聴いて芭蕉布は沖縄が琉球王国の時代から続く伝統的な織物だと初めて知りました。インターネットで芭蕉布について調べると、第二次世界大戦の際に衰退の危機に陥ったことが書かれています。戦争では、その土地で受け継がれてきた歴史や伝統も途絶えてしまう可能性があることに気づきました。

現在の戦争のない暮らしがあることが当たり前ではないことを心にとめるべきだと思いました。また、小学生や中学生の頃は授業を通して戦争について知ったり話したりすることがありましたが、大学に進学してからは中々そのような機会はありませんでした。そのため、「夏想うピース・ピース」に参加させていただき、戦争について知り、平和を考えることの大切さを思い出すことが出来ました。この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。 20代 (U・A)

第三部 オカリナ演奏

「すみれ会」



心に響くやさしい音色
～芭蕉布など演奏～

「原爆パネル」
を見入る参加者



「宇都宮空襲」展示

1945年7月12日夜、宇都宮中心市街地で米軍のB29爆撃機115機による焼夷弾が投下され、市街地の半分が焼失した。



スタンディング 10月9日(日)市役所前・19日(水)コープ栃木店前 PM4時～ 30分間
スタッフ会議 10月6日(木)・21日(金) 11月10日(木)・25日(金) キョクトウくらら 2F